

# 「北陸地域ICTイノベーションセミナー2023」を開催

～ 令和5年度SCOPE研究成果発表会 ～

総務省北陸総合通信局（局長 菱田 光洋）は、北陸情報通信協議会（会長 金井 豊 北陸経済連合会会長）、ICT研究開発機能連携推進会議（会長 細野 昭雄 株式会社アイ・オー・データ機器代表取締役会長兼社長）との共催により、令和5年11月24日にKKRホテル金沢及びオンラインにより「北陸地域ICTイノベーションセミナー2023」を開催し、オンラインを含め120名の参加がありました。



オンラインによる基調講演  
デジタル庁 布施田統括官

最初に、デジタル庁統括官で省庁業務サービスグループ長の布施田 英生 氏が「我が国のデジタル化の全体戦略とデジタル基盤整備の取組」と題して基調講演を行いました。布施田統括官は、デジタル庁が、誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化を実現するため、大胆かつスピーディに改革を進めていることを紹介し、「国民生活や事業者活動をより便利に、安心・安全となるよう取り組んでいく」と今後の展開を説明しました。

その後、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）ソーシャルイノベーションユニット戦略的プログラムオフィス統括の畠山 忍 氏から、NICTの委託研究制度や取組事例等について説明があり、地域課題を解決するため、北陸地域においてもNICTとの連携が有効であることが示されました。

続いて、株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構（JICT）の代表取締役社長大島 周 氏から、世界経済と金融市場動向、更には地政学的状況が不安定さを増す中、日本の競争力強化と国際展開の推進に向けた政府の海外展開施策と、ICTに特化した政府系ファンドとしてのJICTの意義と取組の紹介がありました。

最後に、令和5年度のSCOPE研究課題である「ドップラーレーダの空間検知能力の超高精度化のための組み込み技術の開発」について、国立大学法人富山大学工学部の廣林 茂樹 教授から、24GHz帯の電波を使用した非接触型のドップラーセンサーによる研究概要とこれまでの成果発表がありました。



富山大学廣林教授



オンラインとの併催により開催したセミナーの様相



NICT 畠山氏



JICT 大島氏



SCOPEでの研究課題のパネル展示、  
デモンストレーションの様子